



目 次

I	2017年度 第1回常任委員会報告	1
II	北海道支部 第68回年次大会	1
III	研究発表会 講演要旨作成要領	2
IV	会費納入のお願い	3
V	北海道支部ウェブサイト	3
VI	E-mail アドレス連絡のお願い	3

I 2017年度 第1回常任委員会報告

2017年度第1回常任委員会を去る5月12日に北大農学部で開催しました。議事として、

1) 第68回年次大会(2017年度)、北海道支部年次大会・北海道支部シンポジウムの計画(帯広畜産大学)、2) 2017年度支部賞の募集および支部賞推薦委員、3) 2017年度新家憲基金、4) 支部ニュースレターの発行計画、5) 2016年度決算および2017年度予算などがあり、これらについて審議しました。

第68回支部年次大会および支部シンポジウムは8月24日～25日に帯広畜産大学で開催されます。

II 道支部 第68回年次大会

今年度の支部年次大会を以下の要領で開

催いたします。奮ってご参加下さい。支部年次大会実行委員長は、岸本 正氏(帯広畜産大学)です。なお最新情報は随時支部会ウェブサイト

<http://hokkaido.j-sam.org/ja/>

に近日中に掲載致しますので、こちらも参照ください。

1. 期日

2017年8月24日(木)～25日(金)

2. 場所

帯広畜産大学講義棟
帯広市稲田町西2線11番地

3. 日程

8月24日(木)

12:00～17:00 受付

(講義棟 大講義室前)

12:00～13:00 幹事会

(講義棟 1番講義室)

13:00~14:00 総会
(講義棟 大講義室)
14:15~17:15 シンポジウム
(講義棟 大講義室)
18:30~20:30 懇親会
(場所未定)

8月25日(金)

9:00~10:00 受付
(講義棟 大講義室前)
9:00~12:00 研究発表会
(講義棟 3番講義室, 4番講義室)

4. 参加費

一般: 2,000円 (講演要旨集を含む)
学生: 1,000円 (講演要旨集を含む)

5. 研究発表会の発表方法

研究発表はすべて口頭発表とし、2会場で行う予定です。発表は液晶プロジェクタのみを使用して行われます。液晶プロジェクタは会場に準備しますが、コンピュータは発表者が準備してください。

発表時間は、1課題につき発表15分(予鈴13分, 終鈴15分) および質疑5分の合計20分の予定です。

6. 講演申込み期限

講演要旨とその抄録の提出 (Ⅲ-4. 参照) をもって講演申込みとします。申込み期限は 2014年7月21日(金) です。

7. 年次大会参加申込み

農業食料工学会北海道支部のウェブサイト(推奨)、または別紙の参加申込書に従いE-mail や郵送で農業食料工学会北海道支部第68回年次大会事務局(岸本)宛お送り下さい。諸費用は当日受付でお支払い願います。申込み期限は 2014年7月28日(金) です。

8. シンポジウム

「北海道における農業機械の開発動向を探

る —ユーザが求める農機とものづくり環境—

2017年8月24日(木)14:15~17:15

(1) 講演

1. 「アジアと国内で目指すもの(仮)」
株式会社 IHI スター 登坂直範氏
 2. 「インドと北海道で目指すもの(仮)」
東洋農機株式会社 大橋敏伸氏
 - 3 「国産技術維持発展のカギ(仮)」
道総研工業試験場 堤大祐氏
 - 4 「ユーザとして望むもの(仮)」
イソップアグリシステム 馬渡智昭氏
- #### (2) パネルディスカッション

年次大会と同様、別紙参加申込書に従い、2017年7月28日(金)までに農業食料工学会北海道支部第68回年次大会事務局まで、お申込み下さい。

参加費は年次大会参加費と共通で2,000円(資料を含む)です。またシンポジウムのみ参加希望の方については、参加費は無料ですが、資料代として当日1500円頂きます。

Ⅲ 研究発表会 講演要旨作成要領

1. 用紙, ページ数, 余白

研究発表会における一般講演の要旨は、1課題あたりA4判用紙で2ページとする。

講演要旨はワードプロセッサを用いて、A4判白紙に上下左右の余白を25mmとして作成する。

2. 題名, 氏名, キーワード, 字数行数

講演要旨の最初のページの最上行左端を5cm 空け(後に講演番号を入れる)、題名を表示する。副題がある場合は次行に表示する。

空白行を1行入れ、その次行に発表者の所属氏名を右寄せに表示する。その次行に[キーワード]を左寄せに表示する。連名の場合は講演者氏名の前に○を付ける。キ

ワードは題名と重複しない重要な単語を3~5語表示する。

空白行を1行入れ、次行から本文を表示する。本文の文字は明朝体11ポイント、40字×40行を標準とし、横書きとする。本文の構成および項目番号などは原則として次の例を参考とする。講演要旨はA4判そのままの大きさを白黒印刷される。

1. はじめに (緒言, 目的, など)
2. 方法
 - (1) 試料
 - (2) 装置
3. 結果と考察
4. まとめ (おわりに, 要約, 結論, 今後の課題, など必要に応じて)
文章中で箇条書きが必要な場合には
1) 2) 3) とする。
また, 必要に応じて① ② ③を用いる。

3. 抄録

後日、支部会報に研究発表の抄録を掲載する。そのため講演要旨とは別に研究発表の抄録を作成する。抄録は発表題名、発表者所属氏名および抄録本文とする。抄録本文は目的、方法、結論を200字以内で述べる。

4. 講演要旨と抄録の送付

講演要旨 (A4用紙に印刷したもの) と抄録 (PDF (推奨) あるいはMS Word形式) を 下記の北海道支部事務局編集担当宛 に E-mail 添付もしくは郵送する。ただし、事務局で添付ファイルを正しく読み取れない場合は、郵送を求める場合がある。

送り先:

〒060-8589 札幌市北区北9条西9丁目
北海道大学 大学院農学研究院
生物生産工学分野内
農業食料工学会北海道支部事務局
編集担当 (小関) 宛
Tel & Fax : 011-706-2552
E-mail: jsam-hk @bpe. agr. hokudai. ac. jp

申込み期限: 2017年7月21日(金)

IV 会費納入のお願い

平成29年度分の支部年会費納入をお願いします。年会費は2,000円です。なお、平成25年度までの年会費を未納の方は、併せて納入下さい。

1. ゆうちょ銀行
振替口座 02760-3-19402
口座名 農業機械学会北海道支部
2. 北洋銀行北7条支店
普通預金 0085089
口座名 農業機械学会北海道支部

会費に関するお問い合わせは、

会計担当幹事 原 圭祐

Tel : 0155-62-9835

E-mail : hara-keisuke@hro.or.jp

までお願いします。

V 北海道支部ウェブサイト

農業食料工学会北海道支部ウェブサイトが新しくなりました。新URLは下記の通りです。今後も会員サービスを充実させていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

<http://hokkaido.j-sam.org/ja/>

VI E-mail アドレス連絡の御願い

会員の皆様へのニュースレター、年次大会、シンポジウム、その他各種行事などのご案内を迅速に行うとともに、通信費を節約するために電子メールにての配信を行っています。支部事務局へE-mailアドレスを通知していない会員もしくはアドレスが変更になった会員で、メールにて各種案内、ニュースなどの配信を希望される方は支部事務局 (jsam-hk@obihiro.ac.jp) まで会員名、E-mail アドレスをご連絡願います。

別紙

農業食料工学会北海道支部第68回年次大会 参加申込書

ウェブサイト： <http://hokkaido.j-sam.org/ja/>E-mail: jsam-hk@obihiro.ac.jp

(注：講演要旨/抄録提出用アドレスとは異なります)

郵送先： 〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地

帯広畜産大学農業環境工学分野内

農業食料工学会北海道支部第68回年次大会事務局（岸本）宛

申込方法；農業食料工学会北海道支部のウェブサイト（推奨），または本参加申込書に従い E-mail や郵送で農業食料工学会北海道支部第68回年次大会事務局宛お送り下さい。E-mail の場合，タイトルには「第68回年次大会参加申し込み」と記入し，下記の内容が分かるように整理して記述ください。参加費等は当日受付で申し受けます。

参加申込締切り；2017年7月28日（金）

氏名	所属 勤務先	参加・必要項目に○を記入してください			
		8月24日(木)			8月25日(金)
		幹事会*	シンポジウム	懇親会	研究発表会

参加費：研究発表会・シンポジウム 一般：2,000円，学生：1,000円

懇親会費：未定ですが，一般：4,500円，学生：3,000円程度にする予定です。

*幹事会：幹事の方は記入してください。幹事会出席者には弁当が準備されます。